

令和6年度下関市立病院経営強化プラン評価委員会議事録【概要】

令和6年8月5日（月）14時00分～15時30分

下関市立唐戸保健センター 多目的ルーム

下関市立病院新改革プラン評価委員会

：上野委員長、田中委員、三戸委員、塚原委員、山田委員

下関市保健部

：八角部長、藤井部次長、高橋医監

（豊田中央病院事務局）三好事務局長ほか1名

（地域医療課）藤永課長ほか2名

1. 開 会

2. 下関市保健部長あいさつ

3. 委員紹介、事務局紹介、委員会説明

4. 議 事

（1）豊田中央病院の自己評価について

《豊田中央病院事務局より評価表について説明》

《地域医療課より事務局評価について説明》

＝質疑応答・意見等＝

1 役割・機能の最適化と連携の強化

（1）地域医療構想等を踏まえた病院の果たすべき役割・機能

評価委員会 他の病院でもコロナ以前の病床利用率まで戻ってない状況があるので、同じ状況かもしれない。

病床利用率の目標値が高すぎるのではないかと。新入院患者数の目標値から考えると目標達成はかなり厳しい。平均在院日数をもっと伸ばすことができれば、数字的には達成できると思うが。

今後目標値の見直しが必要になってくる可能性がある。

数値結果だけでなく、努力した点も評価に反映すべきではないか。

目標に向かってさらに努力をしていただきたいので、厳しめの評価に同意する。

豊田中央病院 回復期患者が多いため、地域包括ケア病床を増床していきたいと考えている。今年度はスタッフが確保できたため、回復期病床の割合を増やして運用している。

事務局 現在の経営状況は危機的な状況であり、経営の改善のためには一つ一つの目標の達成が大事。このたびの病床利用率は支障があるレベルと考える。計画通りできていないのは、厳しい評価をして、次年度以降しっかり改善していくことを目指す。

(2) 地域包括ケアシステムの維持・拡大に向けた果たすべき役割・機能

②回復期患者の受入

評価委員会 医療リハビリ件数は目標に達していないが、「回復期患者の受入」という視点からすると、回復期患者の受入れ数が伸びているのであれば、その点を評価できるのではないかと。

医療スタッフ不足により目標を達成できなかった項目が多くあるのが一番の問題である。

医療スタッフ不足をいかに補うか、どのように取り組まれているかが評価に影響してくると思う。

(6) 住民理解のための取組

評価委員会 病院の行事や赴任された医師やスタッフの紹介など、広報紙で紹介されている。昨年度はフェスタが開催され、地域住民に大変好評だった。

住民と一緒に病院を育てていこうという意味を感じている。評価をもっと上げてよいと思う。

2 医師・看護師等の確保と働き方改革

(1) 医師・看護師等の確保

③勤務環境の整備

評価委員会 看護師の退職について、事情を把握しているか。
 看護協会の管理者育成支援を受けるということに至る分析があるのか。

豊田中央病院 詳細は把握していないが、勤務環境が理由ではない。しかしながら、管理職育成の取組が、辞職防止の一助になると期待している。

(2) 下関市立病院経営強化プラン点検・評価書について

《地域医療課より評価書について説明》

5. 閉 会

了